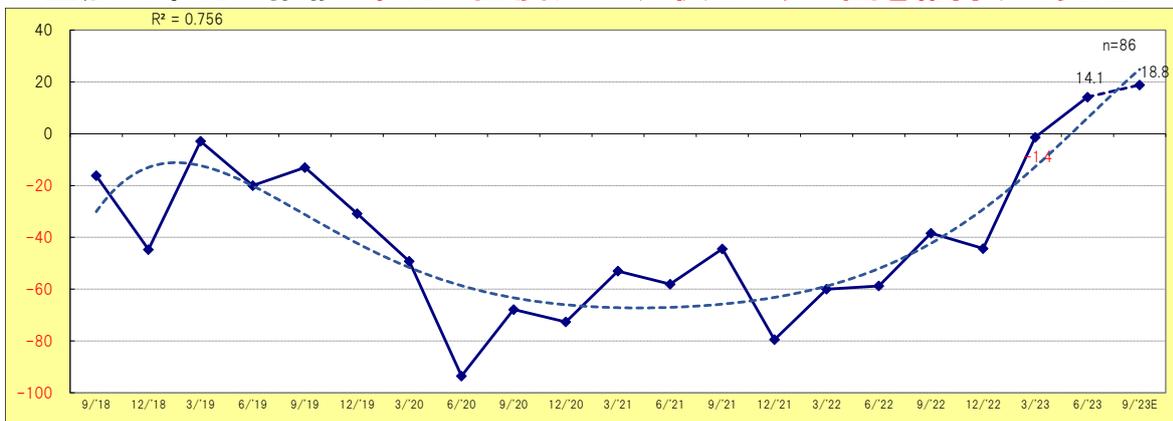


# 第 93 回 パチンコ景気動向指数(DI)調査報告書

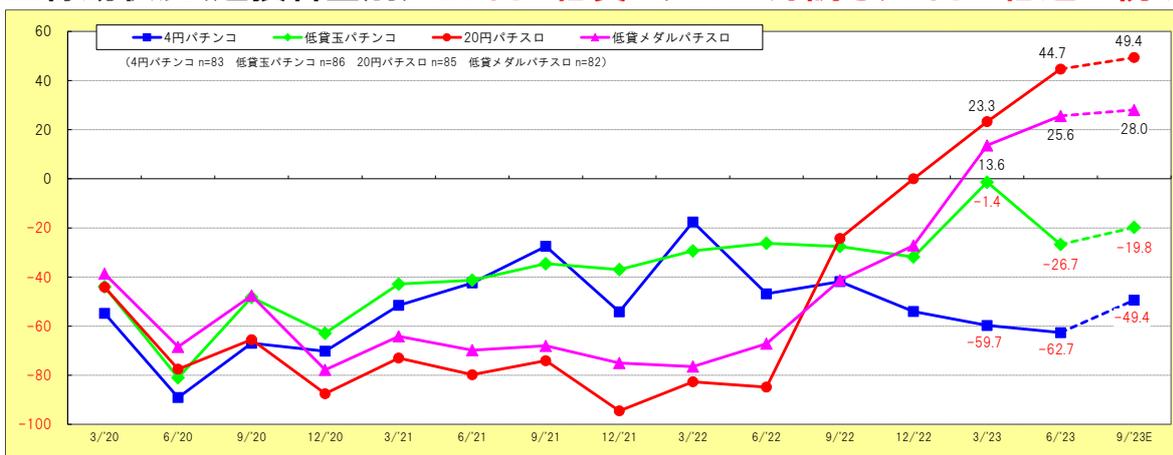
## 2023 年 7 月

### 要点

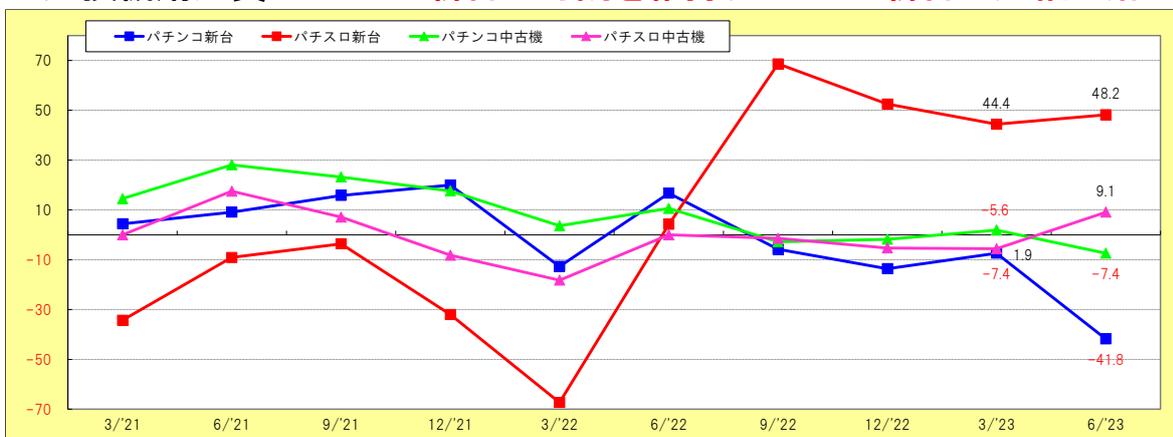
■ 全般的業況の推移: 業況は回復、3 カ月後もプラス圏を維持する見通し



■ 稼動状況(遊技料金別): 20 円と低貸メダルは好調も、4 円は低迷が続く



■ 遊技機購入費: パチスロ新台は好調を維持、パチンコ新台は大幅に落ち込む



◇ 回答状況

57 企業、86 地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)

# 主要指標数値(DI 値)結果

## ■全般的業況はプラス圏へ回復。パチスロは大幅に回復するも、パチンコは悪化

「全般的業況」は 14.1 ポイント(前回比 15.5 良化)まで回復した。3 カ月後は 18.8 ポイントまで回復する見通しである。

「稼動状況」はパチンコが▲57.0 ポイント(前回比 17.3 悪化)まで落ち込んだが、3 カ月後は▲40.7 ポイントまで回復する見通しである。パチスロは 47.7 ポイント(前回比 20.7 良化)まで大幅に回復、3 カ月後は 47.7 ポイントと現状維持の見通しである。

「資本投資気運(遊技機)」は 22.8 ポイント(前回比 6.1 良化)まで回復、3 カ月後は 26.3 ポイントまでやや回復する見通しである。「資本投資気運(その他設備)」も 29.8 ポイント(前回比 1.7 悪化)と概ね現状維持となるも、3 カ月後は 33.3 ポイントまでやや回復する見通しである。

「不足感(雇用人員)」は▲43.0 ポイント(前回比 1.6 良化)、3 カ月後は▲45.3 ポイントと概ね現状維持の見通しである。

### 【主要指標数値(全体)と業界天気】

項目	業界天気 (下段: DI値)			コメント
	前回	今回	見通し	
1. 全般的業況	 -1.4	 14.1	 18.8	現状は薄曇りに良化 見通しも引き続き薄曇
2. 稼動状況 (パチンコ)	 -39.7	 -57.0	 -40.7	現状は引き続き雷雨 見通しも雷雨
3. 稼動状況 (パチスロ)	 27.0	 47.7	 47.7	現状は晴れに良化 見通しも引き続き晴れ
4. 資本投資気運 (遊技機)	 16.7	 22.8	 26.3	現状は引き続き薄曇 見通しも引き続き薄曇
5. 資本投資気運 (その他設備)	 31.5	 29.8	 33.3	現状は薄曇りに悪化 見通しは晴れに良化
6. 不足感 (営業用設備)	 -24.3	 -20.9	 -19.8	現状は引き続き雨 見通しも引き続き雨
7. 不足感 (雇用人員)	 -44.6	 -43.0	 -45.3	現状も引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨

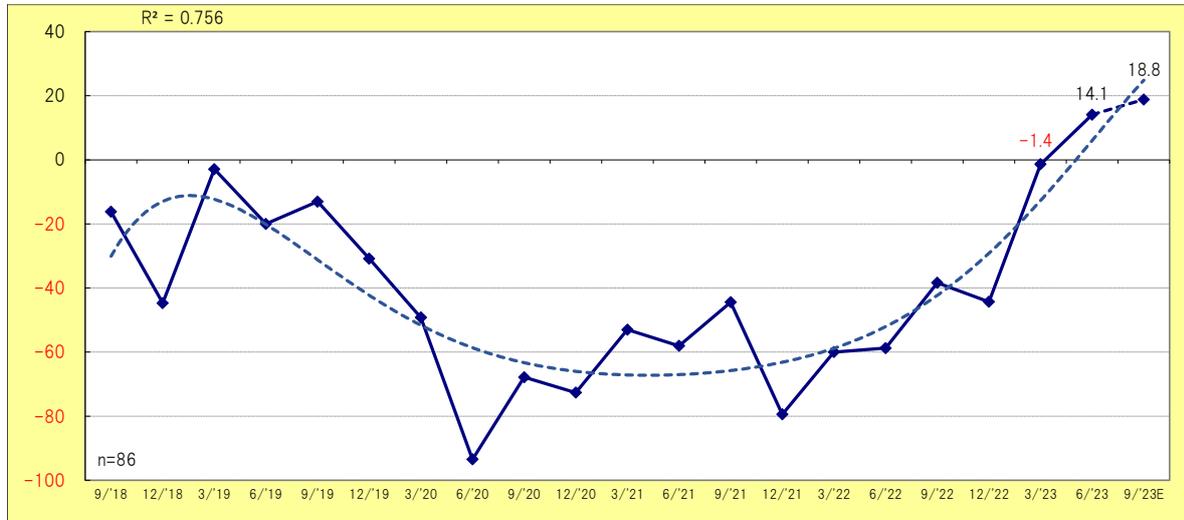
凡例: 天気記号の基準 DI 値

記号					
DI 値	100.0 ~ 30.0	29.9 ~ 10.0	9.9 ~ -9.9	-10.0 ~ -29.9	-30.0 ~ -100.0

# 全般的業況(事業者全体)

注:2023年9月期(9/'23E)の数値は見通し

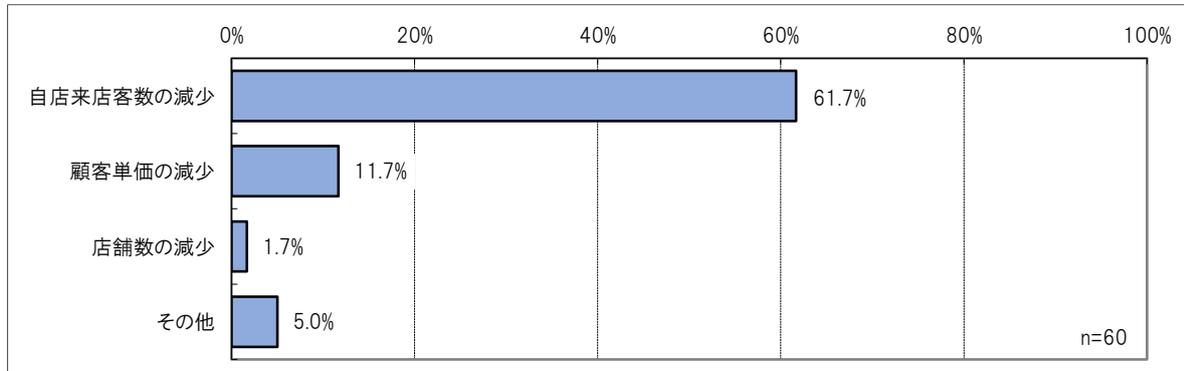
## ■全般的業況:プラス圏へ回復、3カ月後もプラス圏を維持する見通し



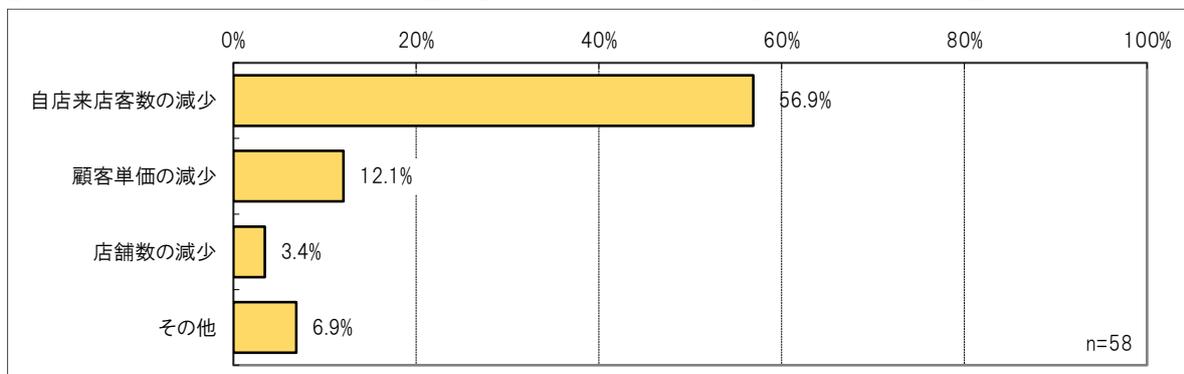
過去1カ月の収益や売上、粗利などから判断される「全般的業況」は14.1ポイント(前回比15.5良化)まで大幅に回復した。3カ月後は18.8ポイントまで回復する見通しとなっており、業況に回復の基調が見られる。

## ■全般的業況の悪化理由:客数の減少は現況6割以上、先行き5割台後半

【現況(現在を含めたここ1カ月)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



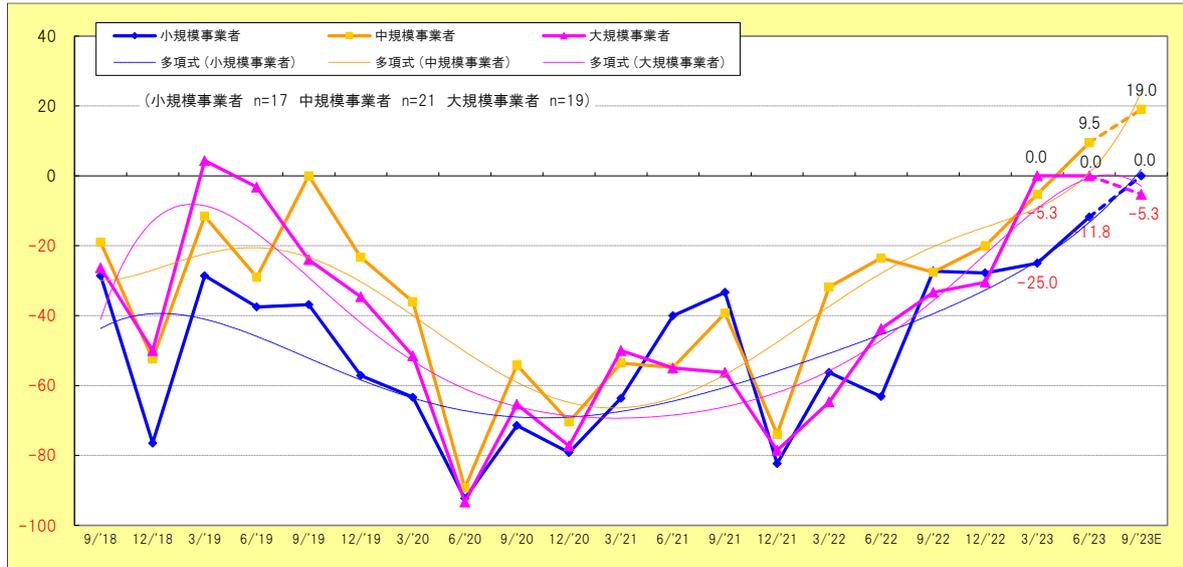
【先行き(3カ月後まで)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



# 全般的業況(規模別・地域別)

注:2023年9月期(9/'23E)の数値は見通し

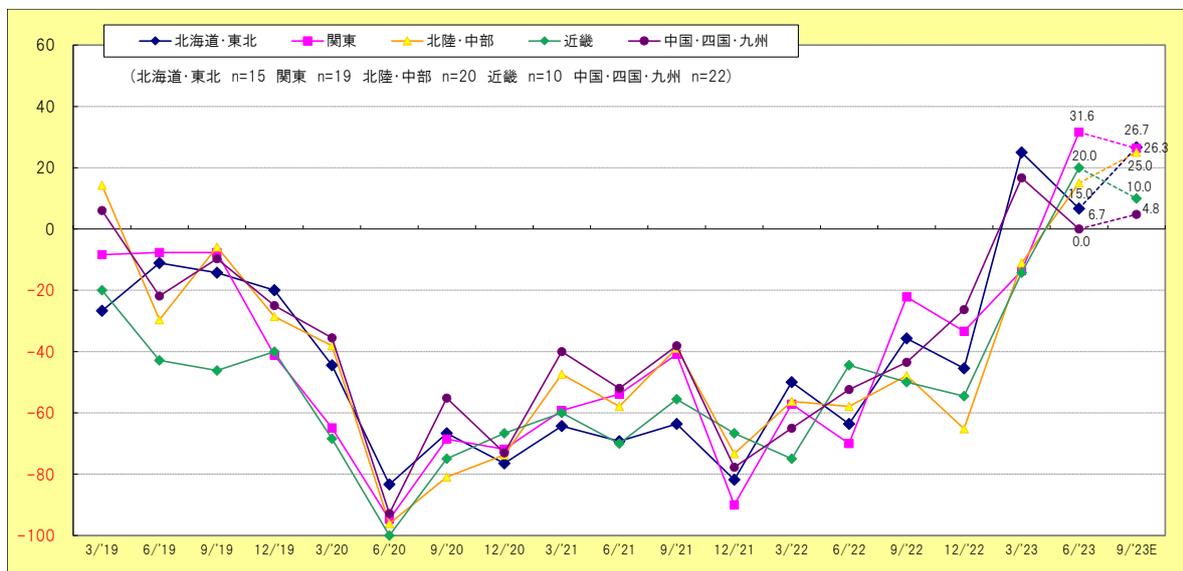
## ■全般的業況(規模別):中小規模で回復、3カ月後も中小規模は回復の見通し



事業規模別の「全般的業況」は、小規模事業者(1~3 店舗)が▲11.8 ポイント(前回比 13.2 良化)、中規模事業者(4~10 店舗)が 9.5 ポイント(前回比 14.8 良化)、大規模事業者(11 店舗以上)が±0 ポイント(前回比±0)となった。

3 カ月後も中小規模の事業者は回復する見通しだが、大規模事業者は落ち込む見通しである。

## ■全般的業況(地域別):マイナス圏の地域はなく、3 カ月後は全地域でプラス見通し



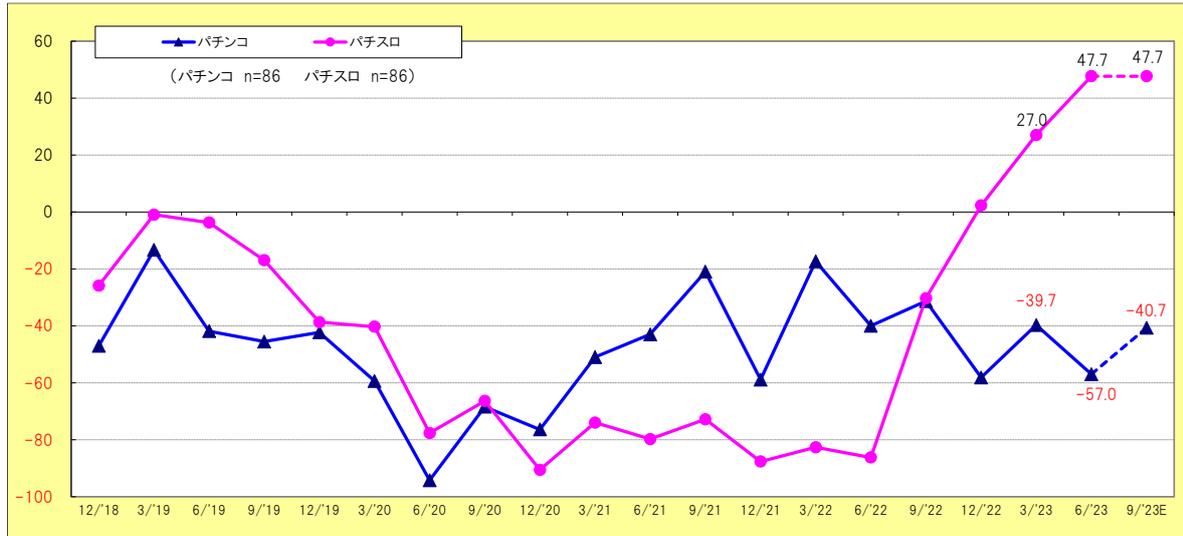
地域別での業況は地域でバラつきが見られたが、マイナス圏の地域はなかった。地域順では、関東で 31.6 ポイント(前回比 45.2 良化)、近畿で 20.0 ポイント(前回比 34.3 良化)、北陸・中部で 15.0 ポイント(前回比 26.1 良化)、北海道・東北で 6.7 ポイント(前回比 18.3 悪化)、中国・四国・九州で±0 ポイント(前回比 16.7 悪化)となった。

3 カ月後の業況も地域でバラつきがあるものの、全地域でプラス圏を維持する見通しである。

# 稼動状況(事業者全体)

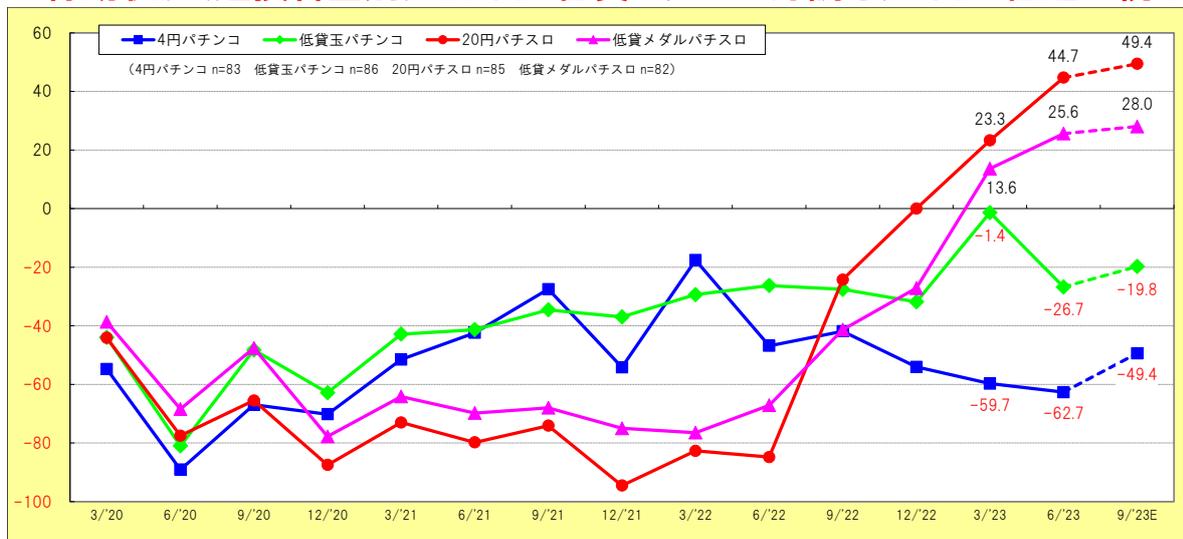
注: 2023年9月期(9/'23E)の数値は見通し

## ■稼動状況(パチンコ・パチスロ別):パチスロは大幅回復、3カ月後も好調の見通し



稼動状況について、パチンコは▲57.0ポイント(前回比 17.3 悪化)まで落ち込んだが、パチスロは47.7ポイント(前回比 20.7 良化)まで大幅に回復した。3カ月後はパチンコ▲40.7ポイント、パチスロ47.7ポイントとなり、パチスロは好調を維持するものの、パチンコの見通しは明るくない。

## ■稼動状況(遊技料金別):20円と低貸メダルは好調も、4円は低迷が続く



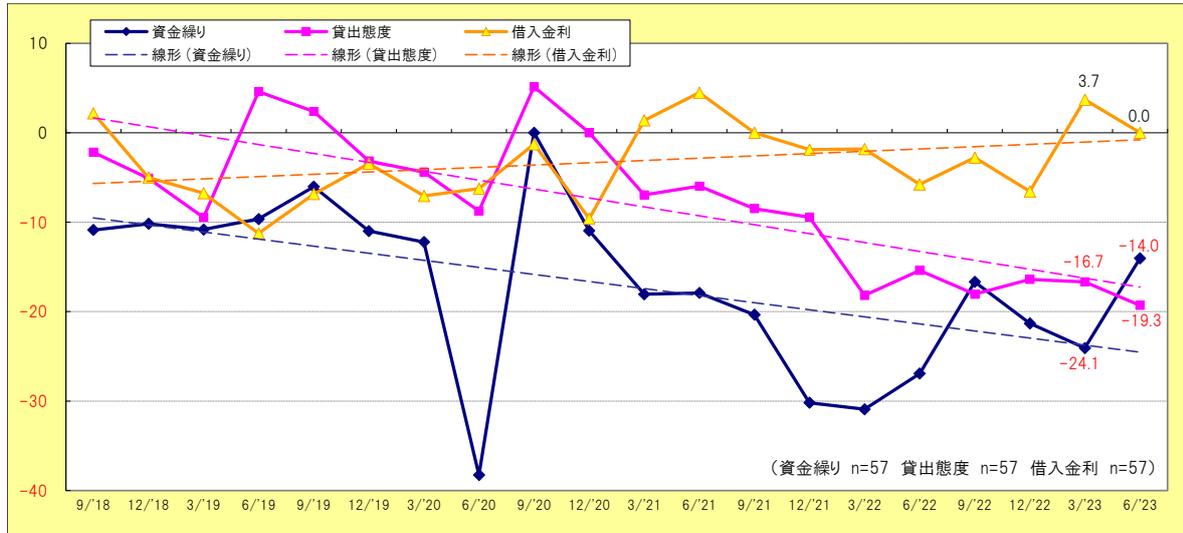
通常貸し遊技料金において、4円パチンコは▲62.7ポイント(前回比 3.0 悪化)まで低下した。3カ月後は▲49.4ポイントまで回復するも低迷した状況に変わりはない。20円パチスロは44.7ポイント(前回比 21.4 良化)まで大幅に回復した。3カ月後は49.4ポイントまで回復する見通しである。

低貸し遊技料金において、低貸玉パチンコは▲26.7ポイント(前回比 25.3 悪化)、3カ月後は▲19.8ポイントまで回復する見通しである。低貸メダルパチスロは25.6ポイント(前回比 12.0 良化)まで回復、3カ月後は28.0ポイントと概ね現状維持の見通しである。

# 経営の現状(事業者全体)

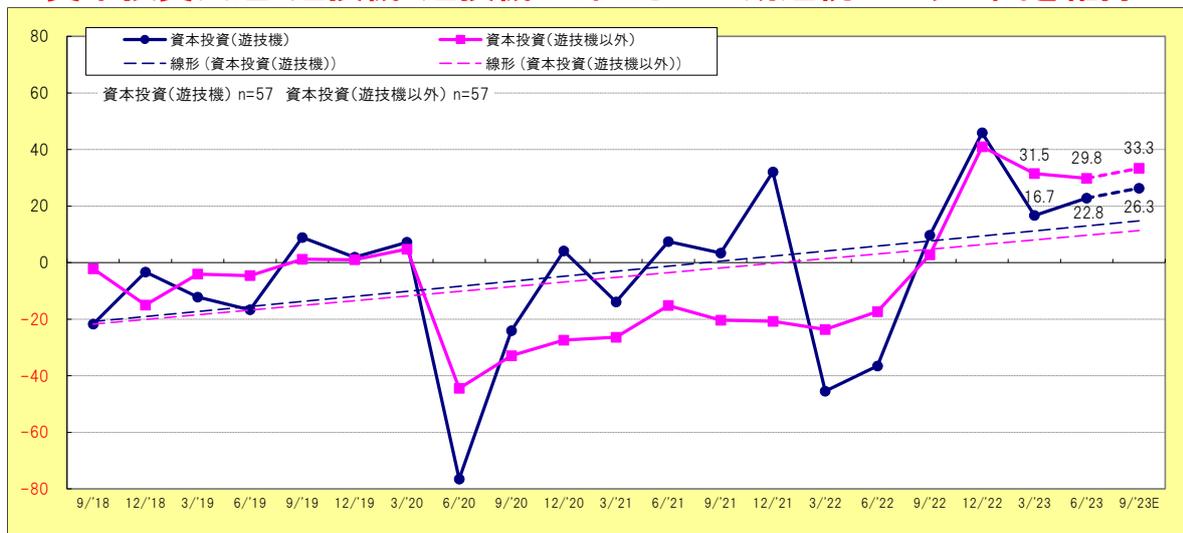
注:2023年9月期(9/'23E)の数値は見通し

## ■企業金融:資金繰りは改善、借入金利がやや悪化



企業金融(資金繰り、貸出態度、借入金利)は、「資金繰り」▲14.0ポイント(前回比10.1良化)、「貸出態度」▲19.3ポイント(前回比2.6悪化)、「借入金利」±0ポイント(前回比3.7悪化)となった。

## ■資本投資気運:遊技機・遊技機以外ともに4期連続でプラス圏を維持



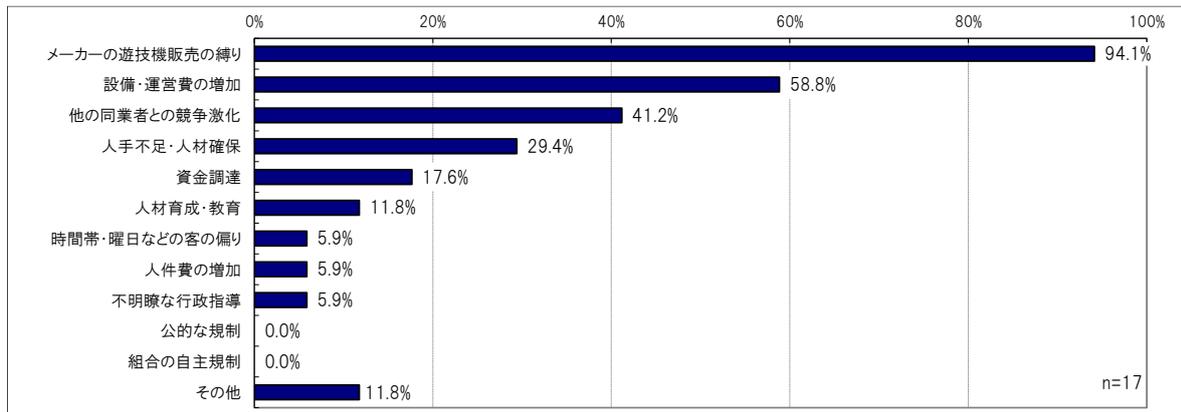
今回の「資本投資気運(遊技機)」は22.8ポイント(前回比6.1良化)まで回復した。3カ月後は26.3ポイントまでやや回復する見通しである。

一方、「資本投資気運(遊技機以外)」は29.8ポイント(前回比1.7悪化)と概ね現状維持となった。3カ月後は33.3ポイントまでやや回復する見通しである。

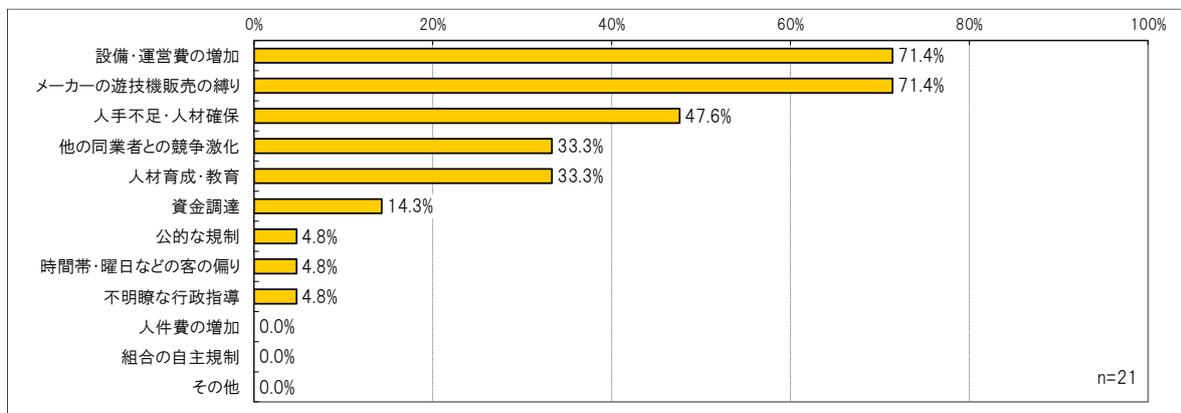
# 経営上の課題(事業者規模別)

注:複数回答

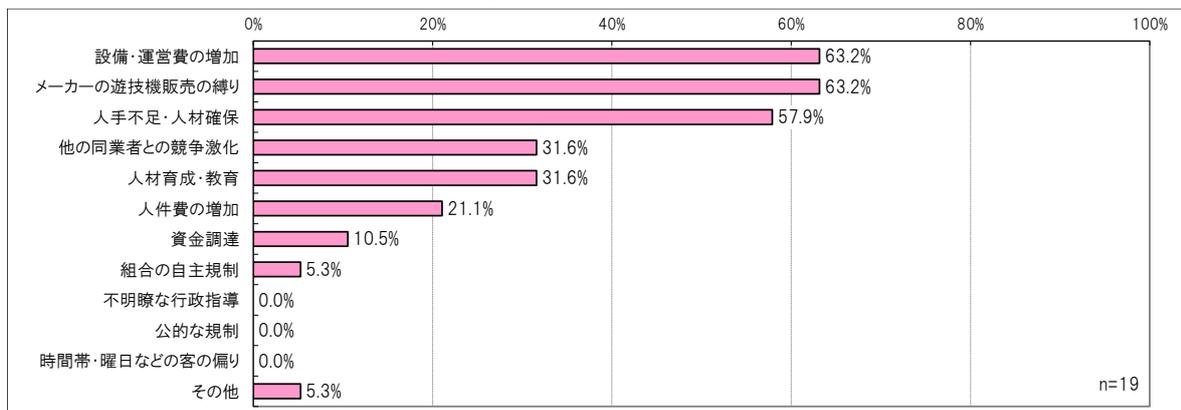
## ■小規模事業者:遊技機販売の縛りが9割以上で最も高い



## ■中規模事業者:設備・運営費の増加と遊技機販売の縛りが同率で最も高い



## ■大規模事業者:設備・運営費の増加と遊技機販売の縛りが同率で最も高い



「経営上の課題」を事業者の規模別で見ると、小規模事業者(1~3 店舗)は「メーカーの遊技機販売の縛り」最も高く、9割以上と突出している。2番目に「設備・運営費の増加」が高かった。

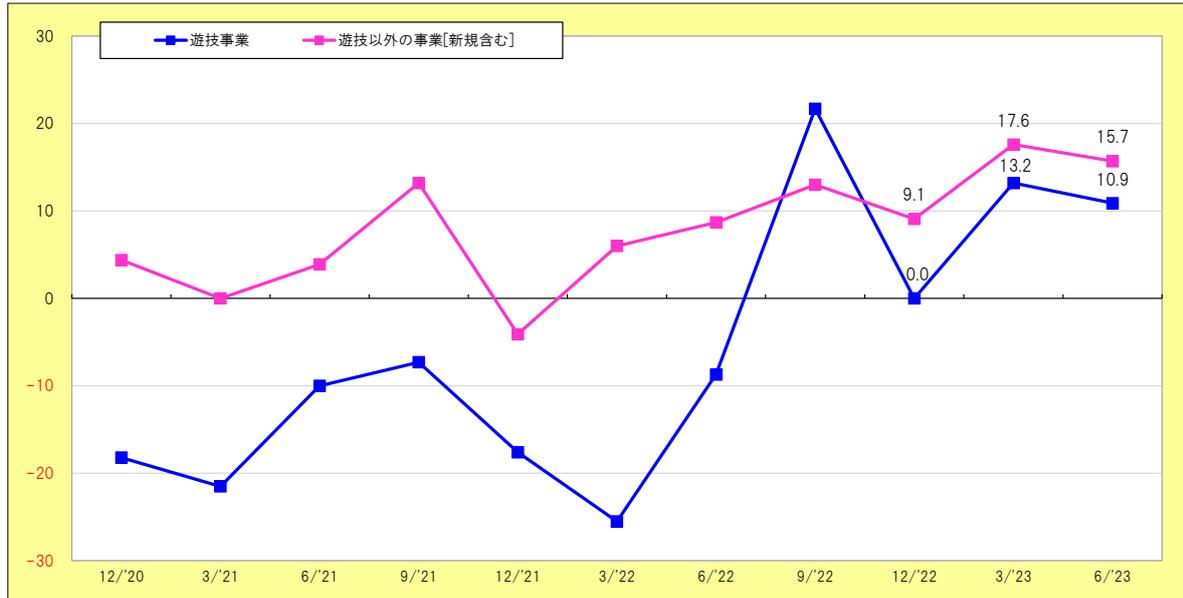
中規模事業者(4~10 店舗)は「設備・運営費の増加」と「メーカーの遊技機販売の縛り」が同率で71.4%となり最も高くなっている。

大規模事業者(11 店舗以上)も「設備・運営費の増加」と「メーカーの遊技機販売の縛り」が同率で63.2%となり最も高かった。

前回に続き、「メーカーの遊技機販売の縛り」「設備・運営費の増加」が上位となっており、事業規模にかかわらず大きな課題と捉えていることがうかがえる。

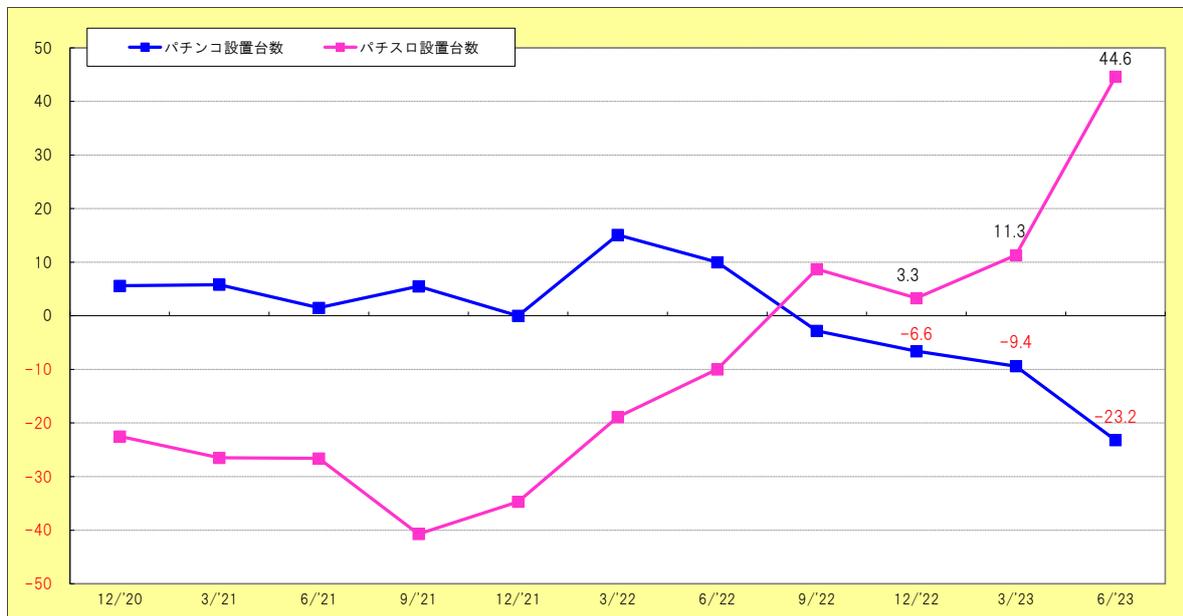
# 今後 3 カ月間の営業施策(事業者全体)①

## ■事業規模:遊技事業・遊技以外の事業ともにプラス圏で概ね現状維持



事業規模について増減差(「拡大」-「縮小」)で見ると、「遊技事業」は 10.9 ポイント(前回比 2.3 悪化)、「遊技以外の事業」は 15.7 ポイント(前回比 1.9 悪化)となり、どちらもプラス圏で概ね現状維持となった。

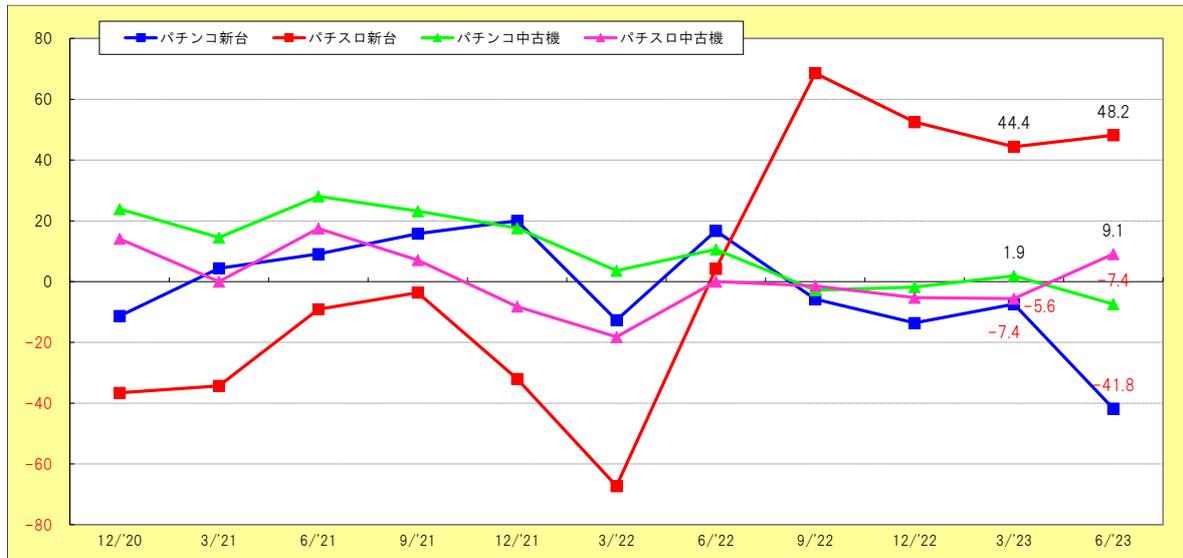
## ■設置台数:パチスロは大幅に回復、パチンコは 4 期連続でマイナス圏



設置台数について増減差(「増台」-「減台」)で見ると、「パチンコ設置台数」は▲23.2 ポイント(前回比 13.8 悪化)となり、4 期連続でマイナス圏で推移した。一方、「パチスロ設置台数」は 44.6 ポイント(前回比 33.3 良化)まで大幅に回復しており、スマスロ北斗の拳の導入の影響もあったと考えられる。

## 今後 3 カ月間の営業施策(事業者全体)②

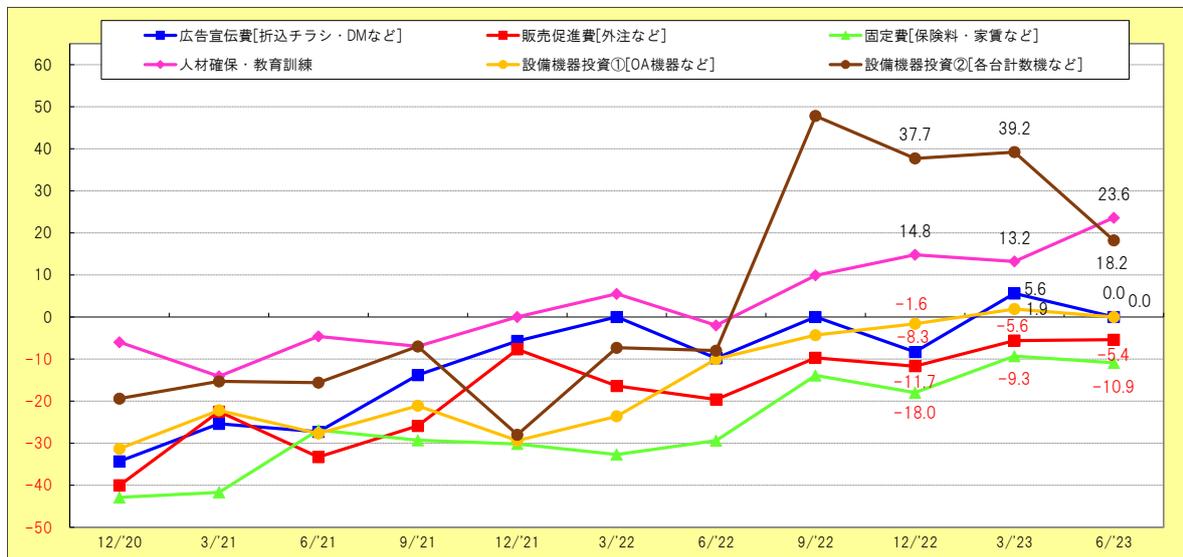
### ■遊技機購入費:パチンコ新台は大幅に低下、パチスロ新台はプラス圏を大幅に上回る



遊技機購入費について増減差(「増やす」-「減らす」)で見ると、「パチンコ新台」は▲41.8 ポイント(前回比 34.4 悪化)、「パチスロ新台」は 48.2 ポイント(前回比 3.8 良化)となった。

「パチンコ中古機」は▲7.4 ポイント(前回比 9.3 悪化)、「パチスロ中古機」は 14.7 ポイント(前回比 0.3 悪化)となった。

### ■販売管理費:人材確保・教育訓練が上昇、設備機器投資②は大幅に低下



販売管理費について増減差(「増やす」-「減らす」)でそれぞれの割合を見ていくと、「広告宣伝費」は±0 ポイント(前回比 5.6 悪化)、「販売促進費」は▲5.4 ポイント(前回比 0.2 良化)、「固定費」は▲10.9 ポイント(前回比 1.6 悪化)、「人材確保・教育訓練」は 23.6 ポイント(前回比 10.4 良化)、「設備機器投資①」は±0 ポイント(前回比 1.9 悪化)、「設備機器投資②」は 18.2 ポイント(前回比 21.0 悪化)となった。

各管理費の中でも「人材確保・教育訓練」は上昇が見られ、最も高くなった。「設備機器投資②」はプラス圏を上回っているものの、大幅に低下した。

## コメント(自由回答)抜粋①

### ■現状と今後について

- ◆パチンコの規則改正に期待したい。(関東・中規模事業者)
- ◆お客様に支持されるスマパチが一刻も早く登場することを期待している。(九州・大規模事業者)
- ◆スマート遊技機に期待していたが、スマパチが不調のため、パチンコの設備投資に対する費用対効果が悪すぎる。早く改善することを期待している。(九州・大規模事業者)
- ◆4円パチンコの稼働が極めて低調である。自社・市場含めて玉粗利が高すぎることに尽きるのだが、改善する原資がない。パチンコ内規改正[TS200未満の総量規制の増加]は見方が分かれるところだが、初当り投資額を低めに抑えながらも一発長打の夢があるスペックに期待したいし、メーカーも流れを変えるような機械を作りこんでほしい。(関東・大規模事業者)
- ◆当社はまだスマスロを導入していない。今後導入する上で稼働と利益バランスがどうなるのか検討段階であるが、ただ入れるだけではダメだと思われるので悩ましいところである。(中国・小規模事業者)
- ◆遊技台・設備などすべてで単価が上昇しており、どこまで上がるか不安だ。(関東・中規模事業者)
- ◆ユニット不足以上に遊技機が不足しており、結果の出た需要のある遊技機の増産スピードがコロナ前と比べて回復していない。メーカーの部材・生産能力不足なのだろうか。渋って抱き合わせを増やしたいのだろうか。ファン需要に応えるメーカーの生産活動を望む。(関東・小規模事業者)
- ◆スマスロの影響で売上は上がってきているが、4円パチンコは厳しい。スマパチは未導入だが、1/319でもキツイと感じているのに、1/350であればなおさらだと思う。(中部・小規模事業者)
- ◆5月GW明けからのパチンコ客数の減少の理由が、単純にスマスロ北斗への移動だけでは説明出来ないくらい減っており、不安になるレベルである。(中国・大規模事業者)
- ◆スマスロ北斗の拳が営業の底上げをしているが、いつまで続くか定かではない。4円パチンコは粗利率を下げてアウトは上がらず、厳しい状況なので、低貸しへの移行も考えている。(関東・小規模事業者)
- ◆中小の店舗はスマスロ・スマパチへの投資や機歴機種のお付き合いはかなり厳しい。来年の新紙幣対応の投資は限界を超えることになりそう。(関東・小規模事業者)
- ◆パチスロ好調、パチンコ不調の傾向にある中で、パチンコの付き合い機種をリリースするメーカーは業界を潰したいのだろうか。上場メーカーを存続させるためにパチンコ店があるわけではない。(関東・中規模事業者)
- ◆スマスロ・スマパチ遊技機の設置を進めている段階だが、ユニット設備と同時進行なので資金の負担が重くのしかかる。遊技機メーカーの販売方法も機歴重視で辛い。遊技機価格もジワリジワリと上昇している。電気代も高い。パチンコ店の経営環境は最悪である。(中部・小規模事業者)

# 調査結果概要データ(DI 値)

## ■主要指標(事業者規模別)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-25.0	-11.8	0.0	-5.3	9.5	19.0	0.0	0.0	-5.3	-1.4	14.1	18.8
稼動状況(パチンコ)	-45.0	-41.2	-29.4	-50.0	-66.7	-57.1	-53.3	-68.4	-57.9	-39.7	-57.0	-40.7
稼動状況(パチスロ)	10.0	11.8	11.8	26.3	57.1	52.4	33.3	52.6	52.6	27.0	47.7	47.7
資本投資気運(遊技機)	-10.0	11.8	5.9	42.1	28.6	33.3	20.0	26.3	36.8	16.7	22.8	26.3
資本投資気運(その他設備)	5.0	17.6	5.9	47.4	28.6	33.3	46.7	42.1	57.9	31.5	29.8	33.3
不足感(営業用設備)	-15.0	-5.9	-11.8	-21.1	-9.5	-14.3	-13.3	-26.3	-26.3	-24.3	-20.9	-19.8
不足感(雇用人員)	-55.0	-52.9	-47.1	-42.1	-52.4	-57.1	-60.0	-57.9	-68.4	-44.6	-43.0	-45.3

## ■主要指標(地域別)

項目	北海道・東北			関東			北陸・中部		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	25.0	6.7	26.7	-13.6	31.6	26.3	-11.1	15.0	25.0
稼動状況(パチンコ)	-11.1	-53.3	-20.0	-52.4	-57.9	-42.1	-44.4	-55.0	-30.0
稼動状況(パチスロ)	33.3	33.3	46.7	45.5	73.7	63.2	27.8	50.0	50.0
不足感(営業用設備)	-22.2	-33.3	-26.7	-13.6	-42.1	-42.1	-33.3	5.0	0.0
不足感(雇用人員)	-33.3	-46.7	-46.7	-54.5	-47.4	-42.1	-55.6	-35.0	-45.0

項目	近畿			中国・四国・九州			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-14.3	20.0	10.0	16.7	0.0	4.8	-1.4	14.1	18.8
稼動状況(パチンコ)	-71.4	-70.0	-70.0	-22.2	-54.5	-50.0	-39.7	-57.0	-40.7
稼動状況(パチスロ)	0.0	30.0	50.0	11.1	40.9	31.8	27.0	47.7	47.7
不足感(営業用設備)	-42.9	-10.0	0.0	-22.2	-22.7	-22.7	-24.3	-20.9	-19.8
不足感(雇用人員)	-57.1	-30.0	-50.0	-22.2	-50.0	-45.5	-44.6	-43.0	-45.3

## ■企業金融(資金繰り・貸出態度・借入金利)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
資金繰り	-16.7	-45.0	-23.5	-30.0	-21.1	-9.5	-17.4	0.0	-10.5	-21.3	-24.1	-14.0
貸出態度	-22.2	-35.0	-17.6	-10.0	-10.5	-19.0	-17.4	0.0	-21.1	-16.4	-16.7	-19.3
借入金利	-22.2	-5.0	0.0	5.0	5.3	4.8	-4.3	13.3	-5.3	-6.6	3.7	0.0

\* 全般的業況 n=86、稼動状況(パチンコ)n=86、稼動状況(パチスロ)n=86、資本投資気運(遊技機)n=57、資本投資気運(その他設備)n=57、

不足感(営業用設備)n=86、不足感(雇用人員)n=86、資金繰り n=57、貸出態度 n=57、借入金利 n=57

\* 小規模事業者=3 店舗以下、中規模事業者=4~10 店舗、大規模事業者=11 店舗以上

■パチンコ景気動向指数(DI)調査とは

パチンコ業界における景気動向の判定を目的に、2000年6月より四半期毎に実施しているアンケート調査である。本調査は2020年9月より(株)シーズ/シーズリサーチが企画・実施しており、(株)エンタテインメントビジネス総合研究所から引き継いだものである。

■DI(Diffusion Index)とは

景気局面の総合判断や予測と景気転換点の判定に利用される景気動向指数のひとつ。数値化しにくい業況感を指標化できるので、景況の先行きを判定するために使われる。

DI値は、調査対象企業に「良い」「さほど良くない」「悪い」というような選択肢の質問を行い、「良い」の回答構成比から「悪い」の回答構成比を差し引いて算出。DI値は+100から-100の間をとるが、プラスならば景気拡大期、マイナスならば景気減速期と判断される。

■今回の調査について

調査対象：日本遊技関連事業協会、MIRAIぱちんこ産業連盟、余暇環境整備推進協議会の3団体会員ならびにAclub(エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス)会員など、全国の有カパチンコ店経営企業

◇実施時期：

2023年6月15日～6月30日

◇調査方法：

調査票をFAXおよびWEBアンケートにて送付・回収

<https://sees-research.com>

◇回答状況：

57企業、86地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)



調査元 〒110-0015 東京都台東区東上野2-20-1 晴花ビル2F  
Tel:03-6806-0548 Fax:03-6806-0563 URL:<https://sees-research.com>



株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

調査協力 〒110-0016 東京都台東区台東1-14-11 藤野ビル2階  
Tel:03-5289-4751 Fax:03-5289-4752 URL:<https://www.eb-i.jp/>